

第 123 回トーマス・マン研究会のご案内

日 時 2023 年 2 月 18 日 (土) 13 : 30 ~

第 1 会場 福岡大学文系センター棟 15F 第 6 会議室 [定員 20 名]

アクセスマップ :

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/help/map/>

<https://www.fukuoka-u.ac.jp/aboutus/facilities/map.html>

第 2 会場 オンライン会場 (後日、開催 URL を送信) [定員 30 名]

.....
プログラム

13 : 30 ~ 14 : 40

研究発表 1 : 別府陽子 (大阪大谷大学非常勤講師)

トーマス・マンのイロニー、パロディー、フモールの考察

——『ブッデンブローク家の人々』を中心に

14 : 55 ~ 16 : 05

研究発表 2 : 長光卓 (九州大学大学院、博士後期課程)

ハインリヒ・マンにおけるニーチェ受容の変遷とトーマス・マン

16 : 20 ~ 17 : 30

研究発表 3 : 渡邊能寛 (東京大学大学院、博士課程)

芸術作品はいかにして野蛮となるか——トーマス・マン『ファウストゥス博士』

におけるニーチェ批判とアドルノ音楽論の交点

.....
参加方法 参加希望者は、九大独文ホームページの「お問い合わせ」欄を通じて、

(1) お名前、(2) 所属、(3) 専門、(4) 希望会場を 2 月 11 日
までにご連絡ください。

九大独文ホームページ : <http://www2.lit.kyushu-u.ac.jp/~german/>

その他：

(1) 本会について

本会は、平成元年に数名の若手マン研究者が、池田紘一氏（九州大学名誉教授）のもとに参集、その後、年に3～4回のペースで、マンを中心に近現代ドイツ文学に関する研究活動を行っています。コロナ禍で一時中断していた活動を第122回より再開しました。

(2) 発表募集

研究発表の募集は、会員以外の発表を含め、随時行っています。発表内容は原則としてトーマス・マンならびにその関連対象です。発表希望者は事務局にご相談ください。

(3) 旅費補助

本会は、研究会会員の中で、遠隔地から参加する常勤職のない若手研究者に対して、旅費補助を行っています。併せて事務局にご相談ください。

(4) 近年の研究発表者

- ・ 第115回研究会（2018年 3月、龍谷大学）：Thomas Pekar、Yasumasa Oguro、
Atsushi Imai、Hans Wißkirchen
- ・ 第116回研究会（2018年 7月、九大独文）：鈴木啓峻、今井宏昌
- ・ 第117回研究会（2018年12月、西南学院）：糸瀬 龍、中島邦雄
- ・ 第118回研究会（2019年 3月、福岡大学）：別府陽子、坂本彩希絵
- ・ 第119回研究会（2019年 7月、九大独文）：長光 卓、小黒康正
- ・ 第120回研究会（2019年10月、西南学院）：林 弘晃、小黒康正
- ・ 第121回研究会（2019年12月、福岡大学）：糸瀬 龍、速水淑子
- ・ 第122回研究会（2022年10月、九大独文）：長光 卓、清家美来
- ・ 第123回研究会（2023年 2月、福岡大学）：長光 卓、別府陽子、渡邊能寛

5) 今後の研究発表者

- ・ 第124回研究会（2023年 6月、九大言文）：長谷川晴生、（募集中）
- ・ 第125回研究会（2023年10月、九大独文）：（募集中）、（募集中）
- ・ 第126回研究会（2024年 2月、福岡大学）：（募集中）、（募集中）

6) 事務局

〒819-0395 福岡市西区元岡 744 九州大学文学部独文学研究室

トーマス・マン研究会事務局

小黒康正（E-mail: [oguro\[at-mark\]lit.kyushu-u.ac.jp](mailto:oguro[at-mark]lit.kyushu-u.ac.jp)）

.....